

## 【情報公開文書】

2020年12月31日作成

Ver.1.0

研究課題名	食道アカラシアを含む食道運動異常症の大規模診療データベースの解析 -Japan Achalasia multicenter study-
所属（診療科等）	長崎大学病院 消化器内科
研究責任者	塩田 純也（助教）
研究機関	<p>《研究代表機関》 昭和大学江東豊洲病院消化器センター：井上 晴洋</p> <p>《共同研究機関》 長崎大学病院 消化器内科その他、全国13施設で実施しています。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p>
研究期間	2021年3月16日～2025年3月31日
研究目的と意義	<p>食道アカラシアを含む食道運動異常症は原因不明の疾患群であり生活の質の低下が著しいため、病態解明や治療法の開発が喫緊の課題となっています。しかしながら、食道アカラシアを含む食道運動異常症の発生頻度は非常に低く、単施設においての症例に蓄積には限界があります。そのため、病態や診療の実態を明らかにするためには多施設での検討が必要であり、本邦において最も大規模な食道運動異常症のデータベースを作成し解析することで、本邦における食道運動異常症の患者の特徴・診断・治療内容・治療効果などを明らかにすることを目的としています。本邦において食道運動異常症の診断やクリニカルアウトカムについてこれほどまでに大規模な研究はなく、本研究により、日本の臨床医、そして世界にむけてエビデンスを発信できると考えています。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん 長崎大学病院消化器内科で2010年1月1日～2020年12月31日までに高解像度食道内圧検査機器(High resolution manometry)・上部消化管内視鏡検査・食道透視などの検査で食道運動異常症と診断された患者さんが対象になります。</p> <p>●利用する情報 病歴（性別、生年月、身長、体重、診療記録）、血液検査結果、内視鏡検査結果、CT検査結果など。 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、内視鏡検査結果、画像検</p>

	<p>査結果などを利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。本研究は本学を含めた多施設共同研究であり、情報は匿名化され研究参加機関で電子的配信で共有します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：塩田 純也（医師） 長崎大学病院 消化器内科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>